

2017. 4. 20 教授会議事要旨

赤門総合研究棟 5 階センター会議室

開 会：13時00分

閉 会：15時15分

出 席：35名

前回教授会（2017.3.16）議事要旨は、確認の上、原案どおり了承された。

通知報告事項

1) 所内事情

所長から、教職員の人事異動及び別紙1に基づき客員研究員について報告があった。

2) 所外関係

所長から、前回教授会以降の全学及び学外の情勢について報告があった。

3) 所内関係

所長から、前回教授会以降の所内情勢について報告があった。

① 諸報告

a 今年度の行事

所長から、以下のとおり、今年度の行事予定について説明があった。

サマーセミナー（8月3日（木））タイトル：「高校生（18歳）のための社会制度（仮）」

講師：水町勇一郎教授、佐々木弾教授、McElwain, Kenneth M. 准教授

b 2017年度第3次配分等への要求〔資料2〕

所長から、資料2に基づいて、第3次配分への申請書を作成し提出したこと。今後ゴールデンウィーク明けにヒアリングが予定されていることについて報告があった。

c 2017年度科学研究費助成事業の新規採択・継続〔資料3〕

所長から、資料3のとおり、採択結果について説明があった。

d 世界社会科学フォーラム（2018年9月25-28日、福岡国際会議場）への関与について〔資料4〕

所長から資料4に基づいて、報告があった。

e 短時間有期職員の処遇について

所長から、今年度の短時間有期職員の契約更新時の処遇について、報告があった。

② 海外出張〔報告・変更・取消〕〔別紙2〕

所長から、別紙2のとおり報告があり、間違いや漏れなどがあれば庶務担当に連絡願いたい旨の連絡があった。

各委員会の報告

1) 予算委員会〔資料5〕

委員長から、今年度科研費の間接経費の使途等について報告があった。

2) 研究戦略委員会

委員長から社研セミナーの、5月～9月及び3月の開催日程とそれ以外は未定であるため、希望者は委員長へ連絡を頂きたいことについて報告があった。

3) 研究倫理審査委員会 なし

4) 全所的プロジェクト研究運営委員会〔資料6〕

委員長から、以下9点について報告があった。

- ① 4/27（木）に危機対応学第1回釜石調査研究会開催予定。
- ② 「危機対応研究センター」プロジェクトへ匿名の寄付を頂いた。
- ③ 5/19（金）～5/21（日）Meridian180 年次大会（開催地：ブリュッセル）に参加すること
- ④ 7/25（火）危機対応学/Meridian 180 共催でカンファレンス開催予定（六本木：国際文化会館）
- ⑤ 「将来に向けた防災意識・行動・価値観調査」を終了した。
- ⑥ HPは、危機対応研究センターについてのページと英語版HPのリンクが完成した。
- ⑦ 4/28（金）危機対応学国際班第1回研究会を開催予定。
- ⑧ 4/18（火）『危機対応学』をこれからいかに進めていくか」と題してワークショップを開催し、30名の参加があったこと、次回は、5/23（火）佐藤慶一氏（専修大学）を予定していること。
- ⑨ 予算要求の中で認められた東京大学地域貢献「見える化」事業を全所的プロジェクトで設置された危機対応研究センターの業務として着実に実施するために、現在、要綱案、申請書などを作成中であること。

5) 図書委員会〔資料7〕

委員長から、資料7に基づいて、一昨年定めた所員著作物収集方法についてリマインドを行った。

6) 新図書館に係る検討委員会

担当委員から新年度の体制について 報告があった。

7) 情報システム委員会

委員長から、4月3日（月）にネットワークオリエンテーションを開催したこと、配布資料についてはデスクネットに掲載しているので、ご覧いただきたいことについて報告があった。

8) センター運営委員会〔資料8〕

担当委員から、資料8に基づき、前年度の活動及び今後の活動予定について報告があった。

9) 現代中国研究拠点運営委員会

担当委員から第3次配分への申請を出したことについて報告があった。

10) 紀要編集委員会

委員長から来年度の紀要の募集を行うことと、今年度リサーチシリーズの申し込み等について報告があった。

11) SSJJ 編集委員会

委員長から、特集号だけでなく、一般号にも記事を掲載できるので、何か紹介いただければありがたいとの連絡があった。

12) 広報委員会

委員長から既に連絡しているとおりの年報の原稿の作成依頼をしているので、4月28日（金）の締切日までに提出願いたいとの連絡があった。

13) その他の所内委員会〔資料9〕

担当教授から、資料9に基づき、ベネッセ共同研究「子どもの生活と学び」研究プロジェクトの2016年度調査に関して4月19日（水）にプレスリリースを行ったことについて報告があった。

14) 全学委員会

担当教授から、5月19日に政策研究センターにおいて開催される講演会について情報共有があった。

協議事項A

1) 客員研究員の受入

所長から、提案があり、承認された。

2) 客員研究員の期間変更・取消・修正等

所長から、提案があり、承認された。

3) 学外委員等の委嘱〔資料10〕

所長から資料10のとおり提案があり、承認された。

4) 奨学寄附金 なし

5) 共同研究の受入 なし

6) 受託研究の受入 なし

7) 各種研究員の受入・期間変更 なし

8) その他 なし

協議事項B

9) 2017年度人員配置

所長から、資料11～資料14のとおり提案があり、承認された。

協議事項C

10) 今年度の部局長裁量経費による所内プロジェクト支援等について

所長より、今年度の予算について、間接費が見込み額よりも相当に多額になったため、部局長裁量経費を設け、今年度の特例として所内プロジェクト支援や、職員の研修等の自己啓発支援に使用したいとの提案があり、承認された。

11) 教育学研究科附属発達保育実践政策学センター協力研究者の委嘱について〔資料15〕

所長から、資料15のとおり提案があり、承認された。

協議事項D

12) 客員研究員受入れ規則の改正について〔資料16〕

担当教授から、客員研究員に関する規則について、制度運用についてのルールや、了解事項を明確化するため、再度規則を整えることとしたとして、資料16のとおり提案があった。これについて、議論を行った結果、本日の意見を基に、次回教授会までに、改正案を作成することとなった。

雑件

・2017年度のスケジュール表〔資料17〕

・2017年度のスタッフ顔写真、メールアドレス、研究室等

所長から、一覧については、デスクネットにアップされている旨の連絡があった。

- 2016 年度社研基金の収支決算報告
- 2016 年度所長室後援費の収支決算



次回教授会までの予定

所長から、次回教授会までの行事予定について、説明があった。